

里海を守れ! 博多湾汚染対策を求めろ!

4月24日、箱崎ふ頭で起きた貨物船火災による油流出は、西区生の松原海岸付近までに及び、休漁による漁獲収入の減少や観光潮干狩りの中止等、漁業関係者をはじめ市民生活に多大な被害を与えました。博多港には年間3万隻超の船舶が入港します。市では本年度「豊かな海の再生と持続可能な水産物の再生」を掲げた福岡市水産業総合計画を新たに策定し、「里海づくり」を水産

火災を起こし沈没した貨物船の周りで油回収作業が始まる。(4月25日 箱崎ふ頭 撮影:落石)

業振興の柱の1つに据えています。事故等により豊かな里海が汚染されるようなことがあってはなりません。そこで、港湾空港局に対し、漁業関係者への早急な被害補償の対応と事故発生を想定した対応策強化を求めました。

【港湾空港局】

- 市漁業協同組合との連携による被害補償の請求を行う。
- オイルフェンス等の資材の備蓄と市漁業協同組合や港湾建設協会等との連携による災害対応力の強化を図る。
- 金属くず等再利用資材の新たな取扱基準の見直しを含め港湾施設利用の適正化を検討する。

東奔西走

おちいし俊則
活動報告

2017年
4月~6月



第8回市政研究会「食を考える」
(4月15日 新・青果市場「ベジフルスタジアム」)
市場関係者から、定温卸売場や生鮮青果物の出荷前検査の状況、市内外・アジア諸国への流通のシステム等について説明をいただき意見交流を行いました。



第88回福岡メーデー
(4月29日 舞鶴公園)
今スローガンは「長時間労働の撲滅 ディセント・ワークの実現 今こそ格差是正の実現を!」。式典終了後は「人権や労働基本権の確立、恒久平和の実現」を市民に訴えながら天神までデモ行進を行いました。



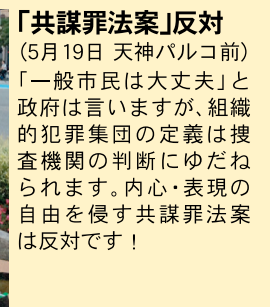
市議会どんたく隊 (5月3日 冷泉公園~市役所)
「ぼんちかわい」の歌に合わせて、しゃもじを鳴らしながら市役所までパレード。明治通りの両側から大きな声援をいただきました。

豊かな海を願って リレー放流

(4月25日 海の中道 マリンワールド)
「育もう 海・人・地域 みんな未来」をテーマにした第37回全国豊かな海づくり福岡大会(10月、宗像市)の周知と気運醸成にむけ、ふたば幼稚園のみなさんと一緒に博多湾にカサゴの稚魚を放流しました。



2017年度 市政報告会
(5月13日 福岡リーセントホテル)
2017年度福岡市当初予算案や新規事業、福岡空港運営委託化問題等を報告し意見交流を行いました。子育てや福祉、就労対策等、参加者からいただいた貴重なご意見・ご要望は行政に届けます。



「共謀罪法案」反対
(5月19日 天神パルコ前)
「一般市民は大丈夫」と政府は言いますが、組織的犯罪集団の定義は捜査機関の判断にゆだねられます。内心・表現の自由を侵す共謀罪法案は反対です!



市戦没者・戦災死没者・引揚死没者合同追悼式
(6月19日 市民会館)
第二次世界大戦で亡くなった本市関係者は12,131人。尊い命が奪われました。平和を次世代に手渡すために、憲法改正を許してはいけません。

PROFILE

1956年4月1日 福岡市東区奈多生まれ
1971年 和白中学校卒業
1974年 福岡高等学校卒業
1979年 福岡教育大学卒業
1979~2006年
27年間、福岡市内の小学校で教壇に立つ(和白東小、千代小、香椎浜小、東吉塚小、美和台小)
2011年 福岡市議会議員 初当選
2015年 福岡市議会議員 二期目

所属委員会・協議会等

- ◆第3委員会 (経済観光文化局、農林水産局、港湾空港局)
- ◆都市問題等調査特別委員会
- ◆九州大学移転・跡地対策協議会
- ◆福岡市中小企業振興審議会
- ◆博多港地方港湾審議会
- ◆福岡市水産業振興審議会

おちいし俊則事務所

〒811-0204
福岡市東区奈多1-10-12
TEL 092-606-4541
FAX 092-606-6878
http://www.ochiishi.jp/
e-mail/info@ochiishi.jp

議会活動レポート Vol.15 【2017年 夏号】

おちいし俊則



福岡市議会議員【東区】

7月に入り、梅雨明けが待たれる昨今ですが、お元気にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

6月13日に開会された第3回福岡市議会6月定例会は、待機児童・未入所児童解消に向けての「緊急保育対策」補正予算案や教科書採択に関わる付随機関設置の条例改正案、福岡市中小企業振興条例案等の議案16件並びに意見書3件を可決し24日未明に閉会しました。また、所管する第3委員会では、市中小企業振興条例案の他、クルーズ船受入機能の強化策や博多湾汚染対策の対応強化等について審議・質疑を行いました。以下ご報告いたします。

「教育予算拡充を求める意見書」「少人数学級推進を求める意見書」採択!



今、学校現場は不登校・いじめ等の深刻な問題を抱える子どもたちへの対応や日本語指導を必要とする子どもたちへの対応、障がいを持つ子どもたちへの「合理的配慮」に関する対応等、その求められる役割は拡大しています。子どもたちへのきめ細やかで丁寧な対応や学びの質を高めるためには、少人数学級の推進をはじめ、生徒指導・進路指導体制の充実や特別支援教育の充実等に向けた計画的な教職員定数確保が重要であり、教室不足解消や体育館改修等、教育環境を更に充実させる必要があります。

また、教員の長時間労働を是正し教材研究や授業準備に専念できる時間を十分に確保することも不可欠です。しかしながら、義務教育費国庫負担金の国庫負担率が、「三位一体改革」の中で2分の1から3分の1に引き下げられたことにより、地方自治体の財政が圧迫されています。そこで、議会最終日、国会と政府に対し、地方自治体の教育行政の充実に向けた「教育予算の拡充を求める意見書」の提案を行い、「少人数学級の推進を求める意見書」とともに賛成多数で採択されました。

福岡市議会6月定例会 第3委員会報告(経済観光文化局、港湾空港局、農林水産局)

クルーズ船 受入機能強化 慎重に検討を!

博多港へのクルーズ船寄港回数は、2015年259回、2016年328回、本年は371回になると推計されています。現在、博多港中央ふ頭では、大型クルーズ船や2隻同時着岸が可能となるよう岸壁延長工事が進められています。委員会では、超大型クルーズ船の2隻同時着岸を念頭に、新ターミナルの整備をはじめ

めとする4案が提示され、今年度中に事業手法の検討や公募条件の整備方針を決めるとの報告がありました。この報告に対し、4案それぞれのメリット・デメリットを質し、今後のクルーズ需要動向を見極めるとともに財政負担軽減や事業手法等、慎重に検討するよう要望しました。

【ターミナル機能強化の手法】 ※審査: 出入国審査

【案1】	1隻はクルーズセンターで審査、もう1隻は「船内審査」で対応。
【案2】	1隻はクルーズセンターで審査、もう1隻は博多港国際ターミナルをクルーズ船にも対応できるよう「改修」し、審査。
【案3】	1隻はクルーズセンターで審査、もう1隻はターミナルを「新たに整備」し、審査。
【案4】	新たにターミナルを整備することで、ターミナル機能を「集約」し、審査

